



巳年 中学1年生折紙作品

新しいことにチャレンジし、学ぶ楽しさを味わえるよう3学期も一歩一歩進めております。本年も皆様にとって健康で幸せ多い年となりますよう心から祈念申し上げます。

令和7年1月17日、阪神大震災から30年、本校では月1回の避難訓練をこの日に行いました。区役所や消防・警察署、町内の消防団の方々を委員とする防災教育推進委員会を同日開催し、訓練の様子をご覧いただきました。委員の方から、「災害に関する訓練に慣れている様子があり、子供たちのグラウンドへの避難がスムーズで迅速だったこと」を褒めていただきました。毎月避難訓練を実施してきた成果です。

子供たちを安全に避難場所へ誘導するため、避難経路の再確認や保護者への引き渡しまでの待機場所など、地域関係者の方からご助言いただきました。また、能登半島への被災者支援へ行かれた委員の方から、日々のストレスや感染症対策など衛生面の対応について教えていただきました。本校は、練馬区の福祉避難所の役割もあります。学校での避難所生活を想定した教職員の災害時対応訓練も行っております。今後も具体的な場合を想定して万一来に備え、地域とも連携しながら継続的に訓練を実施してまいります。

第9回東京都特別支援学校「アートプロジェクト展」への出展

東京都では、一人一人の子供たちの芸術に関する才能の伸長を促すため、芸術教育を推進しています。1月に東京藝術大学美術館にて開催された本展覧会へは1,022点の応募がありました。東京藝術大学美術学部の協力による審査の結果、51点が選ばれました。本校中学2年生の作品が見事に選ばれ、来館する大勢の方に鑑賞していただくことができました。日頃の学習や生活の中で豊かに育まれてきた子供たちの感性が表現された力作です。



中学2年生出展作品

4月以降、子供たちの展示作品がスクールバスの車体を飾り、都内の路上を走ってさらにたくさんの方に見ていただくこととなります。今から楽しみです。

その他、1月29日(水)から2月4日(火)まで、都政ギャラリーにて、東京都特別支援学校第33回総合文化祭「書道作品展」が開催されます。本校中学部生徒の作品も展示されますので、お時間がありましたらご覧いただければ幸いです。

今後、練馬区立大泉第二中学校との作品展示交流会も予定されています。授業参観にお越しになる際は、校内の展示作品などと併せてお楽しみいただきますようお願いいたします。

■伝統文化への理解教育 ～和太鼓に触れる体験をしました～

1月24日（小学部1・2年）、14日（中学部）に舞台実演家・こどもの表現活動の多田純也さんを講師としてお招きし、オリンピックパラリンピックレガシー教育の一環として、日本の伝統文化の一つである和太鼓に触れる体験活動をしました。新年らしい演目や獅子舞の登場に加え、子供たちもはっぴを着て華やかな賑わいでした。

和太鼓の「ドン」と大きな音から始まる演奏に多くの児童・生徒が瞳を輝かせて見入る姿が印象的でした。また、講師の方が太鼓を叩きながら近くを通るとじっと見入ったり、リズムに合わせて身体を動かしたり、子供たち一人一人の楽しみ方で鑑賞していました。

友だちや教員と一緒に一斉に太鼓を叩く場面では、体育館内にその音が広がり振動も感じる事ができ、不思議な感覚を味わいました。現代社会では、思いっきり力を出す場面も少ないのですが、体験では児童・生徒も教員も夢中になって太鼓を叩くことができました。より強い音を出すために、自然と足幅を広げ、体幹を安定させて表現する児童・生徒がいたり、大きな太鼓の周りを友だちや教員と一緒に囲んで演奏したりするなど、和太鼓ならではの良さを再認識できました。

教務主任 中村 亜紀



- ・今年度の7月から行っておりました体育館工事は、1月16日に無事終了しました。長い間ご協力いただきありがとうございました。
- ・来年度の本校のスクールバスは、1コース増え12コースの予定となります。子供たちの毎日の登下校を支え協力いただくバス会社も増える予定です。今後の保護者会等でご説明いたします。